

## 2021年10月7日開会 (通算117回)

例会開催日は、木曜日です。

### 開会点鐘・歌の斉唱

君が代

四つのテスト

### 会長挨拶



皆さん、こんにちは!

本日も大変お忙しい時間帯にこのようにお集まりいただきありがとうございます。

久しぶりのリアル例会です。

緊急事態宣言が明けて少し早いかとも思いましたが、どこかで元に戻していくよう動かないかと思いき、従来通りの会場での食事提供となりました。

今年は5周年という区切りの年です。

このコロナ禍で時だけが過ぎていき、本当に進めなければいけないことを進められているのか疑問に思います。

5周年について少しだけ報告させていただきます。

4月21日(木)はお昼に式典を行う予定でしたが、夜間に変更となりました。

5周年の委員会で夜間に行う方がいいだろうという話となりました。

是非改めてご予定して頂きますようお願い致します。

コロナ禍により皆で集まって何かを進めるということがなかなかできていない状況かと思えます。

委員長の方々は、是非委員会を開催して頂き、自分たちのすべきことは何かを今一度考えて頂き、5周年にむけて心をひとつにして頑張って頂けたらと思います。

個人的な話になりますが、入社式など新入社員向けによくお話することを話させていただきます。

"大人と子どもの違い"

子どもは好きなことをする、大人はすべきことをすると教えて頂いたことがあります。

学生から社会人になることは子どもから大人になることだと思います。

じゃあ、社会人になるとは、大人になるとはどんなことだろう。何が違うんだろう。

学生から社会人になる上で、今までは好きなことをしてきたけれど、これからはすべきことをするんだよ。と新入社員へ話します。

自分たちが社会人になって、この仕事が好きだ、嫌いだ、この人のことが好きだ、嫌いだ。というそんなことではなくて、今何をすべきなのかという見方をすれば、自然と進むべき方向が見えるのではないのでしょうか。

そうすると、皆が好き嫌いで判断していたことに気づき、今すべきことを行動してくれるようなスタッフが育っております。

そして、その先に"真の大人とは"という話もあり、

"真の大人とは"、すべきことを好きになる人。と教わりました。

我々も一大人として、すべきことは何かを考えて動いて頂けたらと思います。

本日は名小路くんが初めて出席してくれています。後ほど入会式を行います。

今、理事会では、清さん、俊郎さん、柴田くん、大塚くんからの紹介で3名の方の入会を予定しております。

大塚委員長を中心に、増強も進んでおります。今後もどんどん仲間を増やして、多くの人数で5周年を迎えたいと思いますので、是非ご協力お願い致します。

また、本日、イ・ジェギョンさんもお越し頂いております。後ほどまたご報告を楽しみにしております。

そして久しぶりに武川さんが出席をしており、卓話をして頂けるとのことでした。

この暗いニュースが多い中で武川さんの面白いお話が聞けることをとても楽しみにしております。

本日も短い時間ですが、中身の濃い時間となりますようよろしくお願い致します。

## 幹事報告

- 10月ロータリーレート 1\$=112円
- 9/21(火)に危機管理セミナーが開催されました。鈴木会長、堀江幹事にて出席しました。
- 10/3(日)に会長エレクト研修パートIが開催されました。高木会長エレクトが出席しました。
- 10/8(金)クラブ公共イメージ向上委員長会議が開催されます。水野広報委員長が出席予定です。
- 9月に開催予定であったガバナー公式訪問及び名古屋名駅RC合同例会は11/17(水)に延期となりました。
- 本日19:00～第1回5周年記念実行委員会高橋グループ全体会議が開催されます。対象の方へは直接ご案内済みです。
- 10/28(木)18:00～@コンセプトエフブンノイチにて第2回IDMが開催されます。詳細は事務局よりご案内致します。
- 次回例会は10/21(木)18:00～@@ウッドデザインパークレジャック店にて夜間例会及び家族会です。出欠について未回答の方は早急にご回答お願い致します。

## 委員会報告

### 【出席委員会】

・出席率

(今回)

第117回例会(10/7)

当日出席率:25/49名 51%

(前回)

第116回ネット例会(9/15)

出席率:48/48名 100%

※出席免除者除いて計算

・ニコボックス

### 鈴木拓将より

久々のリアル例会楽しみましょう!!

名小路君、入会おめでとうございます。

大野君、お誕生日おめでとうございます。

### 河村直樹より

M-1グランプリ一回戦敗退でした。

#### 伊吹洋平より

久々のリアル例会、楽しみにしておりました。

本日も宜しくお願い致します。

#### 牧野敬充より

緊急事態宣言明けましたね。

#### 大塚真次郎より

本日も宜しくお願い致します。

#### 名小路淳より

みなさま、よろしくお祈りします。

#### 高木勝より

久しぶりの例会に参加します。

#### 【米山記念奨学委員会】



#### 2021学年度米山記念奨学生

##### イ・ジェギョン氏より

みなさん、こんにちは。

久しぶりの例会ですね。

先ほどの鈴木会長のお話を聞いて、まだ好きなことをやりたい私は子どもだなと思いました。

最近の韓国の子どもの傾向は好きなことをやりたい子が多いと思います。

大企業に入りたい人も多くいますが、入っても自分に合わないとか、自分が想像したことと違うとか、もっとやりたいことがあると思っ  
た人は収入が良くても、やりたいことをやる人が多いです。

私もこのコロナ禍で家で過ごす時間が増えたことにより、自分の時間を持つようになり、何がしたいのか、何が嫌いなのか、何がやりたい  
のかを考える機会になりました。

就活ではまだどんなところに行きたいのか分からないのですが、これからも自分を探しながら考えて頑張っていこうと思います。

これからも宜しくお願い致します。



## その他

#### ～入会式～



## 会員卓話:実録!! 武川の戦場!!

株式会社トラックス 代表取締役 武川 耀師英 氏



私の姓の由来は、山梨県の武川(ぶかわ)という地域から派生して、武田信玄の家来の末柄でございます。

私は昭和43年に岐阜県中津川市で生まれました。3才頃まではおばちゃま達からすごく可愛い子だと可愛がられておりましたが、4才の頃に大きな転機を迎えました。

1~2才の時に天白の方へ両親と引っ越したのですが、4才になった頃から父から虐待を受けるようになりました。周りからは男の子だから強くしようと思った上での愛情じゃないかと言われてたりもしましたが、自分が親になってもそんな気持ちは全然理解できなく、ただ単にストレス発散のためだったのではないかと思います。

よくいじめられた子が、意識が自分から離れて客観的に見るようになると言いますが、私も似たような状況に陥るまで追い詰められました。これは小学校高学年まで続き、身体的以外にも言葉の暴力で心身ともにやられまして、今でも思い出すことがございます。そして中学校に入ると身体的虐待はなくなり、言葉のみになりました。このように私は父から褒められたことが一度もなかった為、ずっと自分で自分を褒めて、"お前はできる!お前は優秀だ!正しい!"と自分で暗示をかけて生きてきました。

そして、自分も学校では無差別に先輩、後輩関係なくいじめをしておりました。自分は人気者なのだと勘違いしておりました。

しかし、中学校の頃に同級生との衝突で相手が「もう武川やってやる!」とリンチをかけられました。当時人気者だと自惚れて調子になっていた自分にとってはすごくショックで、調子にのることも、同級生と話すこともなくなり、勉強と部活のみをするようになりました。当時テニス部に所属していたのですが、1年生で先輩を差し置いてレギュラーになり、小牧でベスト8になりました。

勉強も家庭教師に教えてもらって、中学終わりくらいには360人中10人以内に入ることができ、高校は近所の進学校に入学しました。高校をなんとか卒業することができれば、両親への義理が果たせたと思っていた自分は、入学した途端に気が緩んでしまい、部活もドロップアウトして、勉強をテスト範囲すら分からないくらい学校に行かなくなってしまいました。ドベから10人以内に入るくらいで、大学受験では13校受けて、マークシートなのでどこかは受かるのではないかと考えておりましたが、全落ちでした。

就職先も、行く学校もないのでフラフラしておりました。先回の山城さんのお話で高校卒業後に2年間フラフラしていた話があったと思いますが、「同じ人がいる!」と嬉しくなりました。

やはりフラフラしていると悪い友達が近づいてきて色々やっていたのですが…

ある日、とある本屋に行くとき"私はこれで有名大学に受かりました"という本があり興味が湧いて買ってみました。その本には2~30人の勉強の仕方と参考書が載っており、ほとんどの人が同じ参考書を使用していることが分かりました。

その参考書を買って、1年程かけてチェックペンで丸暗記していたら、少しずつ成果が出始めて、偏差値が67、早稲田大学B判定というところまでいきました。

この秘訣は、「問題は読むな、質問を先に見る」ことであり、そのやり方でやるとほとんどのテストが100点に近い点数がとれて、短時間で解けるようになりました。嘘のような話ですが本当の話で今で言う"ビリギャル"です。もしも受験で苦しんでいるお子さまがいらっしゃる方は是非ヒントにして頂けたらと思います。

冒頭にお話した幼少期の辛い経験の中で、私の心の救いというものがありました。それは自動車とバイク、音楽でした。音楽に関しては精神的に落ち着かせてくれるもので、好きなジャンルはヘビメタやハードロックでした。自動車、バイクに関してはカスタマイズする改造車が大好きです。若い頃はフェアレディZという車とバイクを所有して、一生懸命いじって乗ってということをしておりました。

当時の辛い思い出としては、父親に隠れてコソコソと改造作業をしていたのですが、マフラーを交換するという作業を初めてする時に、慣れない作業で大変苦労して作業が夜中まで続いたのでしょう。一寝入りして父親に見つからない早朝の内に移動させようと思ったら、ノーマルに戻されていたという……。

少し話は戻り、とある本を買ったことをきっかけに無事に大学に合格することができました。大学に入った当時はバブル期で働けば働く程、お金が入る時期だったということもあり、卒業するのにまた一困難しまして…しかし友人のおかげもあって、なんとか卒業することができました。

卒業できる予定ではなかったもので、内定先も蹴ってしまっており、就職先もないのに結婚しまして、さて就職先をどうしよう?と思ったところ、両親の会社が父の横暴な対応により人出不足ということでそこで働き始めることにしました。

働き口に困っている後輩などに頼まれることもあり、給料だけはよかったので、一応父のことは口添えをして働いてもらっておりました。それでもどんどん辞めていってしまいました。しかし、その中に一人だけ、私が今でも大好きなメキシコの人たちが始めたローライダーという文化に同じく魅了されていた後輩がいました。

その後輩には父は改造車を目の敵にしていたので、とにかく気を付けるよう伝えてはありました。その後輩が、結構値の張る車を購入したとのことで心配していたのですが、会社の給料をあてにしてローン組んでいたこともあり辞めるわけがないと思っていた矢先、急に姿を消したので、父親が原因だと思い謝りの連絡を入れると、本人は大丈夫だと、ローンもトラック運転手をしてなんとかかすると言いました。しかし、その後輩は名神高速道路で居眠り運転の車に衝突されて大事故にあい亡くなってしまいました。両親も私も本当に悲しかったです。当時若かった私は狂ってしまって"父親が悪い"ということに直結して、父親に反撃をしました。

父親が私を警察に送ろうとしてきたので、私は東京の知り合いの元へ逃げようと静岡の方まで行き、返り血を浴びた服を着替える為に服屋さんへ立ち寄り、少し冷静になったところで、やっぱり少し様子を見ることにして戻りました。

それから、私はどうしようか…と思い、違うことをやってみたくなり、家具屋さんでバイトを始めました。そして日曜と祝日はマニアックな車屋さんの手伝いをしておりました。他に空いた時間はレストランで夜はバーテンダーをやっておりました。その他にも"イベントのお手伝い"という仕事を興味範囲でやってみると60万円くらいする高級布団を売りつける詐欺行為だったので、それは1日で辞めました。

その後、やはり車を扱う仕事に向いているなと思い、水面下でブローカーとしても動いていたので、90年代後半くらいから本格的に始動しました。我々アメ車乗りがやっていた自動車税の節税方法がありました。この方法をビジネスにして新聞広告に載せた会社がでてきて、広まってしまうとそのようなことができなくなると思っていたのですが、そういう会社がどんどん出てき始めた為、我々もやろう!ということになりました。

やり始めるとすごい数の注文が入りました。

更に改造ブームがきて高値で売り買いされるようになり、個人事業主で1億数千万程の儲けになったのですが、私はほとんどを飲んでしまいました…

そしてその当時の私は調子に乗って、「一万円札が一円に見える。」という失言までするようになり…。

徐々に仕事も減り、贅沢だけはやめれず究極な状況にまで陥りました。

そして、お金が尽きそうになったところに、叔父がやっていた会社であり、両親が勤めていた会社から、なんとかしてほしいという声がかかりました。

当時のその会社は思っていた以上にやばい状況になっていました。

7,000万ほどの会社なのに赤字は1,000万円程で、従業員は言うことを全く聞かないというので、辞めさせるところから始まり、揉めて揉めて揉めまくり、1年でほどで60万円の赤字までもって行き、次の期には黒字にしました。

社長から急に呼び出されて「気に入らん!」と言われました。

その会社の無駄の1つに、当時雇っていた税理士さんがいて、社長は色んなところから借入をすると、とある女性にすべて貢いでいたようで、それを黙ってもらう為にその税理士さんとんでもないボーナスを払って雇っていたみたいです。その税理士さんをクビにしたことから、このような言われ方をしたのだと思います。

挙句の果てに、その社長からは「この会社は別の人を買ってもらうから、あんたは出ていきな、身の振りを考えろ」と言われました。

従業員を引っ張って仕返ししてやろうかと考えている矢先に、その社長さんが漏水で亡くなり、その奥さんがこんなリスクの高い会社はいらないと言い出して、私が引き継ごうと思ったところ、次は娘さんたちが弁護士を立てて「多額を出して」と言い出し、4年間戦うことになりました。

2006年に晴れて戦いを終えて買い取ることができ今の株式会社トラック스에改名して現在に至ります。

おかげ様で本当に色々なことを経て、当時に比べると売上は6~7倍程になりました。本当にやりたいことができるようになり、やっと心が落ち着き始めました。

こんな風に、私はペコペコして周り道の多い人間です。

やっと落ち着いてきましたのでなんとか真人間だと思ってお付き合い願います。

ただ武川がしゃべっただけだと言うなれば、またリベンジさせて頂ければと思います。

今日はどうもありがとうございました。